

2021 年度 第 7 回 理事会 議事録

日 時：2022 年 3 月 5 日（土）19：00～

場 所：ZOOM による遠隔会議

出席者

〔副会長〕野老稔、中大路哲

〔理事〕丸岡信吾、荒木初広、西川幸穂、古本ルミ、石橋蔭広、柳生志乃、坂井和明、山中博史、永田康一、玉井里英、市谷浩一郎、岸本里紗、村田尚美、頼富未喜、村上なおみ、佐藤亜紀子、小林未季代、早川亮馬、白井徹、東亜弓、今西正泰、玉城耕二

〔学生委員〕山下果歩、前川由衣、金崎睦、本庄由依、神田百代、多久島愛梨、奈良井愛水、門脇早希、船田理紗子、永吉芽衣、高田奈々、足立奈月、島美悠、鶴田彩海

書記：鶴田彩海

古本総務部長から、出席状況の確認があり、連盟規約の要件を満たしており、本日の会議は成立することの報告があった。野老副会長の挨拶の後、丸岡理事長を議長として議事進行することとした。

議事録確認：第 4 回常任理事会議事録（案）確認

<議題>

I. 報告事項

1. 理事の辞任とそれに伴う後任理事の就任について

古本総務部長より、京都産業大学の渡邊理事が辞任され、学校から推薦された石川氏が後任理事を務めると報告された。部署の方は、競技部に所属されると説明があった。

2. 2022 年度加盟に際する登録の手続き等について

山下学生委員長より、今年度の加盟期間は 3/21.22.23 のいずれか 1 日で実施すると報告された。3/13 に各チームに日時の事前アンケートを配信する予定と説明があった。

3. 2022 年度広告協賛要請について（資料①）

玉井広報渉外副部長より、資料①に基づき説明があった。現在、交渉中の企業に関しては早急にコンタクトを取り対応して行く。また、新たに協賛していただける企業はあるが、西日本大会への協賛企業が少ない為、協力していただきたいと報告された。

4. 2023 年度以降のリーグ編成と将来構想について（資料②）

石橋競技部長より、資料②に基づき説明があった。関西の弱みと強みがあげられた。将来構想については、【固定概念に捕らわれず、また変革を恐れずに「組織としてチャレンジする」ことが可能】と上げられた。方針については、常任理事会で検討後、理事会で協議する。具体的な施策については各部署で検討し、理事会で協議する。関西圏での試合の増加、関東等・強豪チームとの交流の場や対戦等の機会の確保という提案がなされた。1 部の大学を増やすことで、強化大学の増加を狙い推薦枠を増や

すことが出来る。また、学連委員を増やし育成、用具の管理、組織としての向上をしなければならぬと報告があった。

2023 年度以降のリーグ編成について、5 部を無くして 4 部に自動昇格する案 1 が提案された。4 年間で 1 部に上げられる可能性が出来る。

5.2022 年度西日本学生バスケットボール選手権大会に向けての準備状況（資料③）

荒木副理事長より、資料③に基づき説明があった。2022 年 6 月 5 日から 12 日にかけて西日本学生バスケットボール選手権大会が行われる予定。西日本地区の学連に対してアンケートを行っており 3 月 13 日までに集計を取り、19 日に男女学連で集まりアンケートを見た上で準備を進めていく。今の段階で、エディオンアリーナ大阪（府立）、丸善インテックアリーナ（中央）、ラクタブドーム（門真スポーツセンター）、おおきにアリーナ舞洲の会場が確保できているが、コロナ等で大会開催を見合わせる場合、キャンセル料が大きくかかってしまうので大会要項にいくらかのキャンセル料と見合うものをご負担いただきたいと明記する。試合の組み合わせは 3 年前の結果を基に決めていく予定と報告があった。古本総務部長により、西日本の準備委員会はまだ立ち上がっていない為、途中経過ではあるが、アンケートの集約状況をみると各地方学連からも参加が見込めると報告があった。

6.学連委員の選出状況について（資料④）

山下学生委員長より、3 月中旬に各チームに学連委員選出についてメール配信をしたところ、2 部の京都産業大学から 1 名選出予定。また、大阪教育大学から検討するという報告があった。

7.その他

特になし

II.協議事項

1.理事の任期途中の辞任と、それに伴う後任理事の推薦について

古本総務部長より、大阪人間科学大学の佐々木氏が 2 月をもって辞任された。後任理事として大阪人間科学大学の長渡氏が推薦されたと報告があった。

2.2022 年度全関西女子学生バスケットボール選手権大会要項と競技注意事項について（資料⑤）

石橋競技部長より、資料⑤に基づき説明があった。1～3 回戦まではリーグ方式とし、ベスト 4 決定後決勝リーグ・5～8 位決定でリーグを行う。コロナの対策についてはコロナ対策チームで検討したうえでまた、報告すると説明があった。荒木副理事長より、大学で大会を行う際には無観客で行うことになるかと推測する。最終日のみ有観客にする可能性がある。西川副理事長より、表彰規定等で見直さなければならないものがあると思われるので、改めて全関西前に理事会を開くと報告があった。

3.財務部からの提案事項（資料⑥）

- ・2022 年度運営費、全関西女子学生選手権大会参加費の改訂について

荒木財務部長より、資料⑥に基づき説明があった。運営費と大会参加費の改定の提案がなされた。コロナ禍による 2 年間連続収支残額が赤字。理由として西日本大会が 2 年連続開催出来てい

ない為大会収益が無くなったことが考えられる。今後の健全な財務対策として運営費 30,000 円から 40,000 円（10,000 円の値上げ）、大会参加費 30,000 円から 35,000 円に増額という提案があり、了承された。

4.2022 年 7 月開催にされる日学主催の新人戦の出場チーム推薦方法について（資料⑦）

坂井強化部長より、資料⑦に基づき説明があった。来年 2022 年度から、全国的な大会がインカレのみの為、新人戦が行われる。今年度は、1, 2, 3 回生まで参加可能と説明があった。将来的には、1, 2 回生で実施する。『3, 4 案の予選を行う』の意見が多い為、予選を実施する方向性で進めていき、日程やその他の理由で不可能となった場合のみ 1, 2 案の推薦方法を取る。

全関西の結果を全国新人大会に推薦するチームの選考基準に加える、具体的な選考方法については協議中の 2 点を代表者会議で参加校に報告、周知することを了承した。参加校の推薦締め切り日は、現時点では決まっていないと報告があった。

5.その他

・理事の皆さんに向けた「ポロシャツ」購入促進協力の要請について（資料購入申込書）

船田学生委員より、毎年関西学連オリジナル T シャツ、ポロシャツを発売しており今年からはロング T シャツを加えて発売すると報告があった。理事にも購入の協力を依頼。その売り上げは、学連を運営するにあたっての資金にさせて頂いていると説明があった。

・各部から

① 総務部

山下学生委員長より、奈良学園大学の坂口さんが学連委員として携わっていたが、今年から運営委員として関わることとなった。坂口さんから、挨拶があり奈良学園大学からの学連委員選出は平田理事と検討中と報告があった。

② 広報渉外部

神田学生委員よりバスケプラスの講習会を 3 月 8 日（火）10 時からエルおおさかで 1 時間ほど行う。2 月 20 日に 1, 2 部に所属するチームに講習会のメールを行ったところ 15 チーム 27 名の方が参加予定であると説明があった。

③ 競技部

前川副委員長より、3 月 6 日に全関西の参加申し込みのメールを配信する。参加申し込み、参加料の締め切りを 3 月 11 日（金）とし、その後抽選を行うと説明があった。決定後、メールで理事の方々に連絡すると報告があった。

④ 審判部

報告事項なし

⑤ 強化部

報告事項なし

⑥ 財務部

先ほど述べたとおりと説明があった。

閉会にあたり中大路副会長より挨拶があり、第 7 回理事会を閉会した。

（以上）